

# 2008年度 代表事業②

事業名

## 新入会員体験セミナー

委員会

Jayceeの和拡大委員会

委員長：藤田 尚徳

副委員長：和田 裕巳

副委員長：松永 一樹

幹事：飯野 琢磨



事業趣旨要約

人は決して一人で生きてゆけない。この「まち」の為に語らい想像し合い、「ひと」の為に助け合い創造し合う。青年会議所は将来に向けて維持・継続・成長へと繋げる為に、そんな仲間を一人でも多く集めることが大きな責務です。会員拡大はLOMの活性化に繋がる不可欠なものであります。そして、メンバー一人ひとりがいつでも仲間を誘いあえる意識を持ち続けることにも意味があると考えます。このような観点から、この会員の拡大は全メンバーがいつでも意識して取り組む継続的なLOM全体事業であると考えます。

背景

- ・LOMの力の源はメンバー、一人ひとりの英知と情熱から生まれている。
- ・個のメンバーを支援していく枠組みが組織であると考えられる。
- ・静岡JCが、より地域から愛され、信頼される団体になる為に、最も必要なのはメンバー一人ひとりが、青年会議所活動の意義や意味をしっかりと理解し、それを意識して活動していくこと。
- ・活動の意義や意味をしっかりと理解し、それを意識して活動していくことで同時に我々の活動を広く発信していくことも重要。
- ・我々の活動を対外的に発信していくことで地域とのコミュニケーションも進化していき、我々の活動が幅広く認知されることは新たな会員の拡大にも繋がると考える。

効果

- ・例会全体を通じて意識改革を図れる。
- ・拡大活動を実際に行い、数字に結びつけることでLOM力の増強を継続的に図っている。

例会の流れ・目的

「基本方針：メンバーの意識改革とLOM力の増強」の実現に関する事項  
担当例会や新入会員体験セミナーは、LOMメンバーにとって青年会議所を再認識出来る場であるとも考えます。入会予定者に何をどのように伝えて行くべきなのかを入会者視点で考え、着実、確実に伝えるような企画・運営に取り組みます。新入会員については入会後も初心を忘れることがあってはいけません。新入会員がこれからの青年会議所を共に真剣に考えて活動・運動出来るよう、会員意識向上委員会をはじめ、各委員会と共にセミナーや事業への参加を通じて委員会を運営いたします。

- ・1月度第二例会「拡大例会」  
人間知恵の輪というアイズプレイクを用い、LOM全体事業ということメンバーに認識してもらおう  
スローガン「我々は一年間を通して次代の創造の為に拡大します」を掲げ目的を共有する  
委員長が熱く語ることで意識の向上を図る
- ・前期 新入会員体験セミナー  
2008年2月27日(水) 19:00より21:00まで 静岡商工会議所  
セミナーを通じて青年会議所について学んでいただく
- ・後期 新入会員体験セミナー  
2008年8月7日(木) 19:00より21:00まで 静岡商工会議所  
入会予定者にJCの基礎知識を学んでいただく。  
静岡青年会議所の活動を学んでいただく。

達成検証

- 事業目的に達した点：
- ・人間知恵の輪というアイズプレイクを用いることでメンバーのLOM全体事業ということが認識できた。
  - ・スローガン「我々は一年間を通して次代の創造の為に拡大します」というものを皆で掲げることで、目的の共有ができた。
  - ・拡大のシミュレーションを実施することで知識と意識の向上が図れた。
  - ・委員長が熱く語ることで、意識の向上が図れた。

基本方針「メンバーの意識改革とLOM力の増強」の実現への効果

- ・例会全体を通じて意識改革を図れた。
- ・拡大活動を実際に行い、数字に結びつけることでLOM力の増強を継続的に図ってまいります。

所見

今年度は55人という人数を目標に、LOMメンバーの意識改革を図りながら事業を進めました。一人で多くの人数を連れてくることより、会員一人ひとりが高い意識を持ち、青年会議所を語ることでの拡大運動へと繋げて参りました。1月の例会においては、意識改革をし、「我々は一年間を通して次代を創造するために拡大活動します!」というスローガンを皆で決定しました。その後自分が語れるJCを考え、どのように拡大運動をしていくべきかを真剣に考えました。最後には委員長がその想いを会員全員に伝え、高い意識を持っての挑戦が始まりました。第1回目の前期入会体験セミナーオリエンテーションまで1ヶ月の間、毎週火曜日は拡大の日と称し、委員会メンバーが中心となり、毎週火曜日にメンバー全員に電話をしました。その結果、オリエンテーションへの参加者は70名を超え、例会見学、理事会見学、面接を経て前期41名の新たな仲間を増やすことに成功しました。入会後は新入会員が中心となった名刺交換会、懇親会を陰からバックアップし、入会者間の交流を深める事業を実施しました。後期入会も同様の流れで進み、入会者目録で手作りしたオリエンテーションには21名が出席し、その全員が入会。前期と合計で62名の新入会員を迎え入れることに成功しました。委員長の「暑苦しいくらい気持ち」をもって事業を進めれば必ず事業は成功する、と実感した一年でした。

目的

- ・会員拡大はLOMの活性化に繋がる不可欠なものである。
- ・メンバー一人ひとりがいつでも仲間を誘いあえる意識を持ち続けることに意味がある。
- ・会員の拡大は全メンバーがいつでも意識して取り組む継続的なLOM全体事業である。
- ・この会員拡大事業を通じてメンバーがこのまちの未来やひとづくりについて共に熱く語らえる「和」を醸成する。

事業概要

- ・2008年度入会者62名達成(前期41名、後期21名、目標55名)
- 事業総額：179,797円



**担当委員長Q&A**

**01 事業選定の理由、想いを聴かせてください。**  
 委員長をやるのであれば拡大をやりたいと思っていました。以前、江崎先輩からとうかい号と拡大だけが唯一の数字としての結果だと教えて頂いた時から、やるのであれば拡大だと思っていました。数字として結果を出したいと思っていたので、拡大委員長に指名された時には「やった!」と思いました。

**02 メンバーをまとめる上で苦労した点を教えてください**  
 様々な考え方の人が集まる集団をまとめるのは難しいと感じ、とても気を使いました。スタッフを選ぶときはできるだけ仲が良い人同士ということも考慮に入れ、それ以外にも周りからの推薦もいただきました。

**03 メンバーをまとめる上で工夫した点を教えてください**  
 とにかく自分の思いをしっかりと伝えて活動して行くために、まずはじめに、メンバーひとりひとりに自分の思いや考えを手紙に書き、スケジュールなども一緒にしてファイルにして手渡ししました。それを機に皆が同じ方向を向いてくれる事につながったと思います。

**04 事業を行う上で苦労した点を教えてください**  
 自分だけでなく周りを動かすことが拡大のポイントでそこが難しい点だと思いました。また、上程がなかなか通らなかったこともありました。「なぜだろう?」と正直不快に思った事もありましたが、だからこそ絶対通すという気概を持って取り組みました。

**05 事業を行う上で感動した点を教えてください**  
 同室の三浦委員長が私の想いを、正副そして理事メンバーに熱意を持って伝えてくれた事がとてもうれしかったです。

**06 1年を通して一番苦労した点を教えてください。**  
 1番最初の上程を通すことができず、とても苦労しました。

**取材全体としてのまとめ・感想**  
 委員長としての強いリーダーシップを感じました。自らの想いを伝えるために、委員会メンバー全員に手書きのメッセージを書いて渡すなど、メンバーをまとめ静岡JCの為に拡大をやり返けようという熱い情熱が伝わってきました。

**07 62名の拡大と、最高の結果を出しましたが、その秘訣は何かありますか?**  
 メンバーひとりひとりが常に拡大について考えるような意識付けが大事であると考え、「火曜日は拡大の日」と題し、拡大への意識を高めました。そういった意識付けとプロセスを大切にすることで、一体感を持って進めることができたと思います。後期の新入会員候補者オリエンテーションでは、「笑っていいとも」のテレフォンショッキング風に設営し、「入ってもいいとも」と題し自分がタモリ役、同室の三浦委員長がゲスト役で演出して入会候補者に楽しく青年会議所の魅力を知って頂こうと思ひ実施しました。その結果後期は候補者全員が入会されました。

**08 今までの拡大活動と、2008年は具体的に何か変えた点はありますか?**  
 一人一人に真剣に想いを伝えて行く事で、その人が持っているものを少しでも発揮して下さると信じて動いてきました。自分自身、入会して5年間一人も拡大した事が無かったのです。その原因を問い詰めて考えてみたところ、熱く真剣に拡大をお願いされた記憶があまりなかったという事に気づきました。それを踏まえて、情熱があれば想いは人に伝わり動いてくれる、「絶対に諦めない」気持ちで暑苦しく真剣に拡大することを決めたら自分一人で10名の拡大に成功しました。

**09 達成してLOM全体の雰囲気はどの様になりましたか**  
 会員みんなが一つになって、みんなでやり遂げたという達成感がありました。

**10 入会したメンバーが委員長などの要職を任務している現状をどの様にお思いですか?**  
 当時拡大したメンバーが、要職を任務している姿を見ると、拡大して良かったと実感わいてきます。それと同時に、今年の拡大と同じように5年後6年後の未来を作っていくので、そのためには今の拡大活動が大切です。そうすれば、自分が体験している「拡大をしておいて良かった」という未来が作ることが出来ます。当時の拡大したメンバーの活躍を見てうれしいが、その反面来年はブロック長という立場で、これからのLOMを作るためにも最後の力を振り絞り、未来の静岡JCのためにも拡大活動をしっかりやっていくという気持ちになっています。



**取材前と後での特に気付いた点**  
 拡大は目標を掲げるため、達成へのプレッシャーが大きいのではと思っていましたが、むしろ、拡大は数字として結果が出る事業だからやりがいがある、という前向きな熱い気持ちで拡大を行っていたことがわかった。